

2012年度 事業計画書

【公益事業】

ちひろ美術館（東京・安曇野）は、子どものしあわせと平和を願ったいわさきちひろの思いを伝え、文化の民主的・多面的発展に寄与する活動を行う。

絵本文化の拠点、絵本研究の拠点として、また、絵本を通じて、0歳から100歳を超える人までもが憩い楽しめる場として、さらに充実した活動に努める。

本年、ちひろ美術館・東京は開館35周年、安曇野ちひろ美術館は開館15周年を迎える。

それを記念し、長年のいわさきちひろ研究のひとつの集大成としてドキュメンタリー映画を公開するとともに、東京、安曇野両館で、ドキュメンタリー映画公開記念展「いわさきちひろ 27歳の旅立ち」をはじめ、多彩ないわさきちひろ展を開催する。

企画展「瀬川康男遺作展」（安曇野）、「出久根育の絵本展」（東京）、日中国交正常化40周年記念「中国の絵本画家展」（安曇野・東京）等を開催し、展覧会を通して絵本研究、作家研究を進める。

ちひろ美術館・東京では、館内で親と子が楽しめるワークショップ、近隣の学校と提携しての出前授業等、様々な絵本の教育活動、普及活動を行う。

安曇野ちひろ美術館では、本年で10周年を迎える中学生ボランティア、安曇野アートラインサマースクール等の活動をさらに充実させる。

絵本の専門美術館としての視点から、芸術性の高い魅力的な絵本や良質の絵本研究書を選び、来館者を始め、広く人々に紹介、普及し、求めに応じて頒布するとともに、レファレンス対応や読書指導を行う。また、それぞれの地域の子育て支援機関等と協力して、親と子を対象に魅力的な絵本等の紹介や読み聞かせ活動等、絵本等の普及活動、支援活動を進める。

日中国交正常化40周年を迎える本年は、中国北京・大連での「いわさきちひろ展」、国際交流基金と共催で中国各地の日中交流センターふれあいの場での「ちひろとトットちゃん」展を開催するなど、絵本に関する国際交流、支援活動に努める。また、ドイツのミュンヘン国際児童図書館にて当館コレクション画家に関する調査や館運営に関する調査を行うとともに、同館にて、いわさきちひろとちひろ美術館の紹介・普及を行う。

来館者のさらなる満足に繋がるよう、スタッフのホスピタリティ向上に努める。

来館者にとって美術館で過ごす時間が、より豊かで充実したものとなるためにも、展示室、絵本の部屋、子どもの部屋、絵本カフェ等が、魅力的な空間となるよう努める。

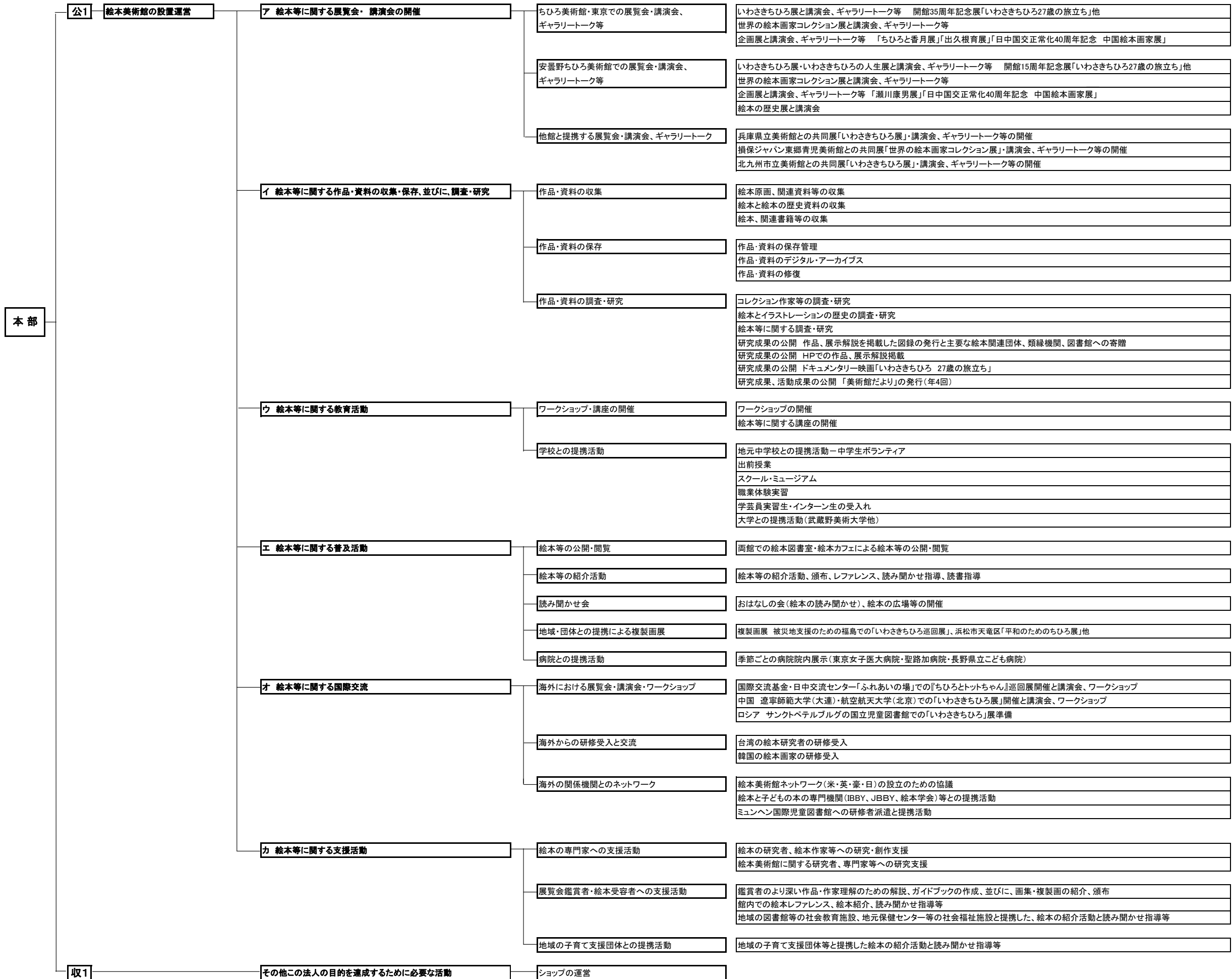
また、耐久年数を過ぎた安曇野館本館の屋根溝部の改修工事を行うほか、来館者にとって憩いの空間であり続けられるよう、東京・安曇野両館の建物・設備のメンテナンスを行う。

公益財団法人として、2013年度よりスタートすることをめざして、公益認定申請の作業を進める。

【収益事業】

来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。

■2012年度事業計画 事業の体系図



本部

■2012年度事業計画一覧

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
絵本等に関する展覧会・講演会、ギャラリートーク等の開催	ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等 【ちひろ展】	ちひろと香月泰男—母のまなざし、父のまなざし—	シベリアでの抑留経験を持ち、郷里の山口県で人間愛と平和をテーマに創作を続けた画家・香月泰男。子どもを終生のテーマに描き続けたいわさきちひろ。それぞれの戦争体験を経て、命を見つめ、身近なもの、小さきものを大切に2人の世界を紹介する。	3月1日～5月20日	ちひろ美術館・東京
		東京開館35周年 ピエゾグラフィによる「わたしのちひろ」展	日本をはじめ、韓国やロシアなどからも寄せられたちひろの絵に関するメッセージを、作品とともに紹介、需要研究でもある参加型展覧会を開催する。	3月1日～5月20日	ちひろ美術館・東京
		ドキュメンタリー映画公開記念展 ちひろ 27歳の旅立ち	この夏劇場公開されるいわさきちひろのドキュメンタリー映画に関連し、映画のなかで紹介される数々の作品のほか、日記等の資料を、ちひろのことばやゆかりの人々の証言とともに展示、画業と人生を紹介する。	5月23日～8月26日	ちひろ美術館・東京
		ちひろ・子どもたちの情景	絵本のなかに”人間の心のふるさと”を描いたというちひろ。なつかしい遊びを描いた童画、絵本『となりきたこ』『みんなでしようよ』の原画、遊ぶ息子のスケッチなど、子どもの情景を描いた作品の数々を展示する。	8月29日～11月11日	ちひろ美術館・東京
		ちひろスタイル—くらしのいろどり—	ちひろは日々のくらしを細やかに慈しむとともに、旅に出かけたり、山荘で過ごす時間も大切にしていた。子どもたちのおしゃれな服装や草花のあしらいなどにちひろのセンスが光る作品のほか、愛用の品々も多数展示し、ちひろ流のくらしの楽しみ方を紹介する。	11月14日～2013年1月31日	ちひろ美術館・東京
	【世界の絵本画家コレクション展】	ちひろ美術館コレクション 奇想の絵本—夢幻とナンセンス—	ちひろ美術館コレクションから、「夢幻」と「ナンセンス」のふたつのテーマに沿って、奇想の絵本の魅力を紹介。	5月23日～8月26日	ちひろ美術館・東京
		国際アンデルセン賞受賞画家 アンソニー・ブラウン展 —ゴリラが好きだ—	ゴリラやチンパンジーを主人公にしたユニークな絵本で知られ、2000年に国際アンデルセン賞画家賞を受賞したイギリスの絵本画家・アンソニー・ブラウン。本展では、絵本原画とともに、資料を展示し、その人生や絵本づくりの裏側も紹介する。	8月29日～11月11日	ちひろ美術館・東京
		—プラハでつむぐ幻想—出久根育の絵本展	チェコの古都プラハで暮らしながら、絵本制作を続ける出久根育。本展では、プラティスラヴァ世界絵本原画展でグランプリを受賞した『あめふらし』、ロシアの民話『マーシャと白い鳥』等の作品を展示し、濃密で幻想的な絵本の世界を紹介する。	11月14日～2013年1月31日	ちひろ美術館・東京
	【企画展】	「光の鳥」FUKUSHIMA ARTプロジェクト	東日本大震災後の福島県いわき市で、現代美術家・吉田重信と地元の人たちがたちあげたアート・プロジェクト「光の鳥」と、映像作品「IWAKI—心のこたたま」を紹介する。	3月1日～3月25日	ちひろ美術館・東京
		子どものための工芸展	金工、木工、布、ガラス、漆器、陶器、アクセサリ、再生紙など、さまざまな分野で活躍している工芸作家たちによる、子どものための工芸品を展示する。	11月14日～2013年1月31日	ちひろ美術館・東京
	【講演会】	ちひろと香月泰男 特別対談 野見山暁治×大石芳野	洋画家・野見山暁治と写真家・大石芳野がいわさきちひろと香月泰男の芸術と人生について語る。	4月7日	ちひろ美術館・東京
		海南友子 講演会	いわさきちひろのドキュメンタリー映画を制作した監督・海南友子が、いわさきちひろの諦めない人生を語る。	7月14日	ちひろ美術館・東京
		鎌田實 講演会「困難な時代をどう生きるか—チェルノブイリ・フクシマをみつめて—」	医師・鎌田實が、困難な状況のなかでも、子どもたちの生命と未来を守ることを大切に行っている自身の活動を語る。	7月22日	ちひろ美術館・東京
		開館35周年記念 内藤廣 講演会「人・暮らし・建築」	ちひろ美術館・東京、安曇野ちひろ美術館を設計した建築家・内藤廣が、人の暮らしと建築のあり方について語る。	9月8日	ちひろ美術館・東京
	【ギャラリートーク】	松本猛によるギャラリートーク	いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見所を語る。	5月13日、8月12日、10月14日、12月9日	ちひろ美術館・東京
		展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころなどを、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第2、4土曜日	ちひろ美術館・東京
	安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等 【ちひろ展】	ドキュメンタリー映画公開記念展 ちひろ 27歳の旅立ち	いわさきちひろ研究の成果である、初のドキュメンタリー映画の劇場公開に先行し、映画に登場する作品などとともに、ちひろの言葉や各時代のポートレート、資料を展示し、当時の生活や作品に込めた思いを含め、その画業と人生を紹介する。	3月1日～5月8日	安曇野ちひろ美術館
		開館15周年記念 ピエゾグラフィによる「わたしのちひろ」展	日本をはじめ、韓国やロシアなどからも寄せられたちひろの絵に関するメッセージを、作品とともに紹介、需要研究でもある参加型展覧会を開催する。	3月1日～5月8日	安曇野ちひろ美術館
		ちひろ・花の肖像	花を愛し、描いた草花の種類は80種を越えるといわれるいわさきちひろ。透けるような花卉の質感が感じられる、花の肖像画ともいべき作品のほか、琳派を思わせる装飾的な構図など、ちひろの花の魅力を紹介する。	5月11日～7月10日	安曇野ちひろ美術館
		子どものしあわせと平和—ちひろ+黒柳徹子—	“子どものしあわせと平和”を願って活躍したいわさきちひろと黒柳徹子。本展では、『窓ぎわのトットちゃん』に掲載された作品や絵本『あかちゃんのくるひ』『戦火のなかの子どもたち』などを展示し、ふたりの思いを紹介する。	7月13日～9月18日	安曇野ちひろ美術館
ちひろ・和の心		古来より日本人は繊細な感覚で、花鳥風月といった美しい自然を表現している。ちひろの四季折々の草花や風物を描いた作品、『万葉のうた』の原画や書などを展示し、ちひろの作品に息づく日本的な美意識を探る。	9月21日～11月30日	安曇野ちひろ美術館	
ちひろの人生		ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品などを展示、人生をパネル構成で紹介し、ちひろの人間像を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館	
【世界の絵本画家コレクション展】		ちひろ美術館コレクション 世界の絵本画家展	ちひろ美術館コレクションの中から、ジョン・バーニンガム(イギリス)、ユゼフ・ヴィルコン(ポーランド)、武建華(中国)など、各国を代表する絵本画家の作品を紹介する。	3月1日～5月8日	安曇野ちひろ美術館
	瀬川康男遺作展—輝くいのち—	1960年に最初の絵本を発表して以来、早くから国際的に注目され、話題作を数多く発表した瀬川康男。本展では、様々な表現スタイルを持つ初期から後年までの代表的な絵本の原画とともに、絵本と同時進行しながら制作を続けたタブロー作品などを展示し、その画業と人間像を紹介する。	3月1日～5月8日	安曇野ちひろ美術館	
	国際アンデルセン賞受賞画家 アンソニー・ブラウン展 —ゴリラが好きだ—	ゴリラやチンパンジーを主人公にしたユニークな絵本で知られ、2000年には国際アンデルセン賞画家賞も受賞したイギリスの絵本画家・アンソニー・ブラウン。本展では、絵本原画とともに、資料を展示し、アンソニー・ブラウンの絵本作りの秘密に迫る。	5月11日～7月10日	安曇野ちひろ美術館	

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所		
	ちひろ美術館コレクション 人になった動物たち	当館コレクションのなかから、「擬人化された動物」をテーマに作品を展示し、動物の姿に託された画家たちの思いを紹介する。	5月11日～7月10日	安曇野ちひろ美術館		
	ちひろ美術館コレクション ちひろ美術館が出会った世界と日本の絵本画家たち	安曇野ちひろ美術館閉館15周年を記念し、本展では、美術館との縁の深いエリック・カール(アメリカ)、クヴィエタ・パツオウスキー(チェコ)をはじめ、ちひろ美術館コレクションを代表する世界各国の画家の作品、約100点を紹介する。	7月13日～9月18日	安曇野ちひろ美術館		
	ちひろ美術館コレクション 絵本と訪ねる、世界の家	家族が集い、生活を営む場である家には、その土地の文化や人々の暮らし、自然環境が映し出される。国や地域によって千差万別な世界各地の家、空想の家、そして動物の家……。 “家”をテーマに、世界の絵本画家の作品を紹介する展覧会。	9月21日～11月30日	安曇野ちひろ美術館		
	【企画展】	工芸の五月2012 子どものための工芸展vol.2	子どもに伝えたいもの。ずっと大切にしたいもの。銀細工、陶器、染、織、木工など現在活躍中の工芸作家が子どものためにつくった作品を展示する。	5月11日～7月10日	安曇野ちひろ美術館	
		高橋和真 パッケージクラフト展	菓子や食品などの空き箱を使い、そのパッケージデザインを生かしながら新たな作品を創り出す、パッケージクラフト。その生みの親である高橋和真は、この十数年来、昆虫やロボット等、さまざまな作品を制作してきた。見慣れた空箱たちの華麗に変身するパッケージクラフトの世界を紹介する。	7月13日～9月18日	安曇野ちひろ美術館	
		日中国交正常化40周年記念 中国の絵本画家展	近年、様々な分野で発展を続ける中国では、絵本の世界でも優れた作品が出版されている。本展では、日中国交正常化40周年を記念し、長く中国の絵本界で活躍する于大武や武建華をから若手画家まで、7人の画家、約60点の作品を展示し、中国の現代絵本の魅力を紹介する。	9月21日～11月30日	安曇野ちひろ美術館	
		絵本の歴史	死者の書や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分け、紹介する。	通年	安曇野ちひろ美術館	
	【講演会】	海南友子 講演会(ドキュメンタリー映画先行試写会)	いわさきちひろのドキュメンタリー映画の全国公開にさきがけ、監督・海南友子が、いわさきちひろの諦めない人生を語る。	4月25日	松川村 すずの音ホール	
		黒柳徹子館長による講演会	ユニセフ親善大使をつとめる館長・黒柳徹子が、「子どもの幸せと平和」をテーマに、世界の子どもの現状を語る。	6月or7月(予定)	安曇野ちひろ美術館	
	【ギャラリートーク】	松本猛によるギャラリートーク	いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見所を語る。	5月13日、8月12日、10月14日、12月9日	ちひろ美術館・東京	
		展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころなどを、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第2、4土曜日	両館	
	他館と提携する展覧会・講演会	いわさきちひろ展 母のまなざし・子どもたちへのメッセージ	子どものしあわせと平和を願って描きつけた、いわさきちひろの幅広い画業と人生を、代表作約130点と、新旧二つのアトリエの復元、遺品や資料ともに展示、紹介する。	3月31日～5月6日	兵庫県立美術館ギャラリー	
		ちひろ美術館コレクション ちひろと世界の絵本画家たち 心をつなぐアート、絵本原画のたのしみ	当館コレクションの代表作のなかから、ちひろの作品25点と、世界の絵本画家24カ国53人の画家の作品約100点を展示する。	7月7日～8月26日	損保ジャパン東郷青児美術館	
		いわさきちひろ展	子どものしあわせと平和を願って描きつけた、いわさきちひろの幅広い画業と人生を、代表作約130点と、新旧二つのアトリエの復元、遺品や資料ともに展示、紹介する。	9月15日～10月21日	北九州市立美術館	
	絵本等に関する 作品・資料の 収集・保存、並びに 調査・研究	作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
絵本と絵本の歴史資料の収集			時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館	
絵本、関連書籍等の収集			優れた芸術性を持ち、魅力的な絵本の収集を進める。	通年	両館	
作品・資料の保存		作品の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品管理を進める。	通年	両館	
		作品のデジタル・アーカイブス	支持体、画材とも脆弱な水彩画である、いわさきちひろ作品のデジタル・アーカイブスを進める。	通年	両館	
		作品修復	修復が必要な作品の修復を行なう。	通年	両館	
作品・資料の調査・研究		コレクション作家の調査・研究	展示等にあわせて、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。	通年	両館	
		絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	展示等にあわせて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進める。	通年	両館	
		絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について調査・研究を進め、魅力的な絵本の要素を研究する。			
		研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、図録としてまとめ、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈する。	通年	両館	
		研究成果の公開 HPでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、HPにアップする。	通年	両館	
		研究成果の公開 ドキュメンタリー映画「いわさきちひろ 27歳の旅立ち」	過去3年に渡って行なってきたいわさきちひろ縁の人々への取材記録をもとに、長年のちひろ研究の現時点での集大成としていわさきちひろの芸術、芸術観をその人生とともにまとめたドキュメンタリー映画を公開する。	通年	両館	
		研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、年4回発行する「美術館だより」やHPを通じて、公開していく。	通年	両館	
絵本等に関する教育活動		ワークショップ・講座の開催	水彩のにじみでつくる おひなさまのカード	ちひろの絵の特徴である、水彩絵の具の“にじみ”技法を体験し、オリジナルのカードをつくるワークショップを行う。	3月3日	ちひろ美術館・東京
			ワークショップ「光の鳥」	東日本大震災後の福島県いわき市で、現代美術家・吉田重信と地元の人たちがたちあげたアート・プロジェクト「光の鳥」の関連ワークショップを行う。	3月10日、11日	ちひろ美術館・東京

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
	水彩技法ワークショップ	いわさきちひろの水彩技法を体験するワークショップを行う。	8月18日、19日、9月9日、2013年1月2日、3日	ちひろ美術館・東京	
	ちひろ美術館・東京 たてもの探検ツアー	バックヤードを含め、ちひろ美術館・東京の建物を紹介、機能や込められた思いを伝える。	5月18日、9月2日	ちひろ美術館・東京	
	子どものための工芸展ワークショップ「綿の糸つむぎ」	「子どものための工芸展」出展作家を講師として、子どもを対象にした綿の糸つむぎを体験するワークショップを行う。	11月18日	ちひろ美術館・東京	
	子どものための工芸展ワークショップ「再生紙でつくる壁かざり」	「子どものための工芸展」出展作家を講師として、子どもを対象にした再生紙で壁かざりをつくるワークショップを行う。	11月24日	ちひろ美術館・東京	
	子どものための工芸展Ⅱ「親子のためのワークショップ 小さな簞作り」	「子どものための工芸展Ⅱ」出展作家による、子どもにも使いやすい卓上のほうきを親子で作るワークショップを行う。	5月20日	安曇野ちひろ美術館	
	中学生ボランティアと楽しむ夏休み体験コーナー(ワークショップ)	松川中学生によるボランティアを募集、研修し、来館者を対象とした水彩技法の指導や作品解説、絵本の読み聞かせや館内ツアーなど、体験プログラムに取り組む。	7月下旬～8月中旬	安曇野ちひろ美術館	
	絵本講座の開催	絵本に親しみ、より理解を深めるための絵本講座を、館内外で行なう。	随時	両館	
	学校との提携活動	地元中学校との提携活動ー中学生ボランティア	松川中学校と連携し、夏休み期間中、美術館ボランティア(体験補助、展示解説等)を行なう中学生ボランティアの育成を行なう。	6月下旬～8月中旬	安曇野ちひろ美術館
		出前授業	いわさきちひろやちひろの技法について、学校等に出向いて授業を行なう「出前授業」を企画、実施する。	随時	両館
		スクールミュージアム	都下、県下の希望校を対象に、展示会の作り方を指導、複製画の貸し出し等を行い、生徒の力で展示会が開催できるよう生徒キュレーター育成を行う。	随時	両館
		職場体験実習の受入れ	練馬区近辺、松川村近辺の中学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務を体験してもらう。	随時	両館
		学芸員実習、インターンシップ生の受入れ	学芸員実習希望者の受入れと、武蔵野美術大学からのインターンシップの受入(安曇野館)	随時	両館
		大学との提携活動(武蔵野美術大学他)	武蔵野美術大学、松川村、安曇野ちひろ美術館の三者で連携し、地域の子どもの対象に夏のワークショップを行なう。	7月～8月	安曇野ちひろ美術館
	絵本等に関する普及活動	絵本等の公開・閲覧	絵本図書室による絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本の部屋での閲覧に供する。	随時
絵本等の紹介活動		コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、HP等で紹介、普及、頒布するほか、どんな絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適時、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスをし、日々の暮らしの中で身近に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館
読み聞かせ会		おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれ定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
地域・団体との提携による複製画展		各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	被災地支援のための福島での「いわさきちひろ巡回展」(6月～9月)、浜松市天竜区「平和のためのちひろ展」(8月)他
病院との提携活動		季節ごとの病院内展示(東京女子医大病院、聖路加病院、長野県立こども病院)	来館が難しい病院患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、各病院からの求めに応じて、院内での読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
絵本等に関する国際交流	海外における展覧会・講演会、ワークショップ	国際交流基金・日中交流センター「ふれあいの場」での『ちひろとトットちゃん』展巡回展開催と講演会、ワークショップ	国際交流基金・日中交流センターとの共催で、日中国交正常化40周年の今年、中国国内各所の「ふれあいの場」で「ちひろとトットちゃん」展を巡回、展示とともに講演会、ワークショップを行い、いわさきちひろとユニセフ親善大使でもある館長・黒柳徹子、二人に共通する子どものしあわせと平和への願いを伝える。	随時	中国ふれあいの場、他巡回
		中国 遼寧師範大学(大連)での「いわさきちひろ展」開催と講演会、WS	日中国交正常化40周年の今年、国際交流基金の協力を得て大連の遼寧師範大学で、100点規模のピエゾグラフィック作品による「いわさきちひろ」展を開催し、独自の絵本表現を紹介するとともに、ちひろの子どものしあわせと平和への願いを伝える。	11月1日～13日	遼寧師範大学芸術学院美術系美術館
		中国 航空航天大学(北京)での「いわさきちひろ展」開催と講演会、WS	日中国交正常化40周年の今年、国際交流基金の協力を得て北京の航空航天大学で、100点規模のピエゾグラフィック作品による「いわさきちひろ」展を開催し、独自の絵本表現を紹介するとともに、ちひろの子どものしあわせと平和への願いを伝える。	11月20日～12月5日	北京航空航天大学新媒体芸術与设计学院美術館
		ロシア サンクトペテルブルグの国立児童図書館での「いわさきちひろ展」準備	2013年4月に予定されている、サンクトペテルブルグの国立児童図書館での「いわさきちひろ展」の実現に向け、準備を進める。	随時	両館
	海外からの研修受入と交流	台湾の絵本研究者の研修受入	台湾国立台東大学児童文学研究所教授・游珮芸氏による「いわさきちひろ」、並びに、「絵本の専門美術館とその運営」をテーマにした研究のための安曇野ちひろ美術館での研修を受入れ、共同研究を行う。	5月6日～6月3日	両館
		韓国の絵本画家の研修受入	韓国で活躍する若手絵本作家のグループの、絵本、絵本表現、絵本美術館に関する研修を受け入れる。	秋	安曇野ちひろ美術館
	海外の関係機関とのネットワーク	絵本美術館ネットワーク(米・英・豪・日)の設立のための協議	エリック・カール美術館(米)、セブン・ストーリーズ(英)、ドロマキーン児童図書センター(豪)とともに、絵本文化のさらなる発展をめざして、絵本専門機関の国際ネットワーク作りのために、各館との情報共有を進め、交流を深める。	随時	両館
		絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動	絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY、並びに、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会等との交流を深め、適時、提携活動を行っていく。	随時	両館

事業		個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
		ミュンヘン国際児童図書館への研修者派遣と提携活動	世界ではじめての国際的な子どもの本の専門図書館であるミュンヘン国際児童図書館へ当財団から研修者を派遣し、同館の資料を活用して当財団コレクション絵本作家、並びに、国際アンデルセン賞受賞絵本作家の調査・研究を進める。同時に、同館の運営について学ぶとともに、提携を深め、同館で当財団の活動、コレクション等の紹介活動を行う。	12月1日～2013年1月31日	ミュンヘン国際児童図書館
絵本等に関する支援活動	絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料、を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
		絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
	展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。	随時	両館
		館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ指導等	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に絵本の紹介や、読み聞かせの方法等について指導を行っていく。	随時	両館
		地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスをを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館
	地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	地域の子育て支援団体やお母さん方のグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスをを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館